

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400185
法人名	社会福祉法人 明星福祉会
事業所名	南方園グループホーム けやきの里
所在地	鹿児島県枕崎市まかや町679番地 (電話) 0993-76-3461
自己評価作成日	平成27年5月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年6月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境に恵まれ、四季折々の景色が楽しめるけやきの里では、1年中花壇で花を育てており、楽しみや生きがいに繋がっています。同敷地内にある交流センターで温泉を利用し、クッキング教室など行事に参加、地域の方々との触れ合いを大切にしています。庭にはけやきの大木があり、そこで日中は愛犬「はな」と共に木陰でお茶をしたりと憩いの場になっています。その他、レクリエーションや散歩などの活動を支援し夜の安眠へとつなげて、みなさん健康で生き生きと穏やかな生活をされています。又、隣接する介護老人福祉施設と協力し、夏祭りや運動会など地域との連携、防災や職員研修など積極的に参加し職員の質の向上に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは敷地内に同法人の介護老人福祉施設をはじめ関連施設が隣接し、災害時の協力体制が構築されている。緊急時の対応も相互に協力できる体制が整っている。ISOを取得し、中長期計画の作成から年間目標、年間計画の作成、四半期毎の反省・見直しなど組織的に品質管理が行われている。
- ・施設内の地域交流センターの温泉を地域へ開放したり、料理教室の開催など日常的に地域住民との交流が行われている。
- ・利用者は地元住民が多く、日常的に近隣の馴染みの友人の訪問があり、けやきの木陰でのお茶飲みをしている。
- ・利用者の生活歴や習慣を把握し、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの力量に応じて役割の分担を支援している。
- ・管理者は話しやすい環境を整えて、職員の意見や提案を積極的に反映させ、職員のチームワークも良くケア対応等の向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の方々との交わりを大切にすることを理念に掲げ、日常的に交流センターの温泉利用や散歩、併設の他事業所や施設との関わりを持ち交流を図っている。	法人の理念を基にホームの理念を掲げ年間目標・年間計画を作成し3ヶ月毎の見直し、気づきノートや申し送りノート等で振り返りを行っている。理念は玄関や事務室に掲示し、職員は名札の裏に理念を携帯し常に理念に沿ったケアの実践を心がけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	買い物やドライブなどの途中で地域の方々とは話をしたり、他グループホームとの交流会など年間を通して実施している。	事業所に併設する地域交流センターの温泉やホールを地域の人に開放したり、木陰のベンチで茶話会をしている。法人の夏祭りや運動会・料理教室などに多くの地域住民の参加がある。保育園との交流や中学生の職場体験学習、高校生の実習、ボランティアの受け入れ等も行い、日常的に交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	見学者や実習生など随時受け入れを行い、認知症の人の理解やケアの方法の説明をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>出された意見や要望はミーティングで取り上げサービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。外部評価の報告やけやき便りを配布し事業所の状況やケアに関する意見・アドバイスを貰っている。出された意見で、圧迫骨折した利用者に退院後、特別養護老人ホームの機能訓練士のアドバイスで歩行訓練に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>毎月現状報告を行っている。毎回の運営推進会議にも出席していただき意見や情報交換を行っている。入退居がある時は、できる限り包括支援センターに相談し本人や家族の望まれる生活を考慮している。</p>	<p>市の担当者とは毎月訪問して事業所の実情や取り組みについて報告し、アドバイスを貰っている。運営推進会議を通して協力関係もできている。生活保護の担当者とも密に連絡合っている。地域包括支援センター担当者の訪問も多い。市主催の研修会にも積極的に参加し協力関係ができている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に勉強会をし、職員の理解を深めている。日中は、自由に入出入りし、散歩や木陰でお茶を飲むなど屋外活動を多く行っている。</p>	<p>法人として指針やマニュアルがあり計画的に勉強会を開催している。事業所もマニュアルを基に月1回の勉強会や外部研修に参加しての報告・事例検討を行っている。日常的に身体拘束ゼロを実践している。玄関は昼間、施錠せず職員間の連携で安全な暮らしを支援している。近隣住民の声かけや見守りなどの協力もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に勉強会をし、全職員が虐待に対する弊害を心得ている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	併設事業所や事業所内の勉強会に参加し、理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、ケアに対する考え方や取り組みを説明している。退居についても家族や本人の意向を聞くようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議やけやきだより、面会時などで、現状を報告し意見や要望など伺うようにしている。出された意見や要望は、職員ミーティングや申し送りノートで内容を共有し、サービスに反映するようにしている。	利用者からは日々の関わりの中や利用者全員参加の運営推進会議で思いを聞いている。家族からは面会や行事参加時・運営推進会議時に話しやすい環境を作り意見や要望など聞く機会を持っている。要望で馴染みの理・美容院利用の支援をしている。出された意見等は申し送りノートや気づきノートで情報を共有しサービスに反映させるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者には定期往診等の機会に相談や意見を伺うほか半年に1回現状報告をしている。又、気づきノートに職員が思いや感じたことを書くようにし、ミーティングで検討しサービスに繋げている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、申し送りや毎日のミーティング等で職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設け、反映するよう取り組んでいる。お茶や食事の時間などに気軽に話し合える雰囲気も作っている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>入居者に合わせた臨機応変を基本に職員の休憩時間をはっきり決めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修や講演会への参加や、毎月1回の法人勉強会、事業所勉強会を開催している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設や事業所との交流会や合同での行事を実施。交流を深め情報交換を行い、ケアの向上に役立てている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に出向いて面接や見学などして頂き、本人・家族に、ここでの暮らしぶり、食事の様子を見てもらうなどの機会を設けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	在宅での状況や以前の介護保険サービス状況について尋ね、事業所としてどのように対応できるか話し合い、ケアプランに反映している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望があれば他のサービス（デイケアなど）の利用も可能であることを伝えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お茶や食事を一緒にしている。又、料理の手伝いや掃除など日常で役割を持ってもらいお互い支え合う関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やけやきだよりにて生活状況を報告し、家族と共に考えていくようにしている。必要であれば手紙や電話で連絡し、要望を伺っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物・ドライブ時入居者の地元を通ったり墓参りに行っている。家族へも法事など親戚の集まりなどの時は、一時帰省や外泊を勧めている。	家族や馴染みの友人・知人の訪問や隣接の他事業所との交流で一緒にお茶を飲んだりして、継続的關係が途切れないよう働きかけている。手紙のやり取りも手伝っている。親戚の法事や一時帰省、外泊などの際には家族の協力を得たりして支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	互いにお茶を入れあったり仲の良い入居者同士、お互い助け合いやすい座席の位置など考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の施設に面会に行くなど関係性を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の入居者の表情や言動、又家族からの情報を基にして、思いや意向をくみ取るように努めている。	日々の生活の中で、表情や言葉などから思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難の場合は、家族からの情報を得て、職員も気づきを記録し、それらを共有して意向の把握に努めて本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前や入居時のカンファレンス、家族の面会時や本人との語りの中で察したり伺うなどしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の表情や気分の観察を常に心掛け、その人の出来ること、出来そうなことを促している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の申し送り・気づきノートからケース記録、個別支援経過としてまとめ、本人、家族、職員を含めて話し合い、本人の望む生活を支えることを心掛けてケアプランを作成している。	本人や家族・主治医・看護師・その他必要な関係者で話し合い個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、定期的に見直しをしている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送り・気づきノートをホールへ置きいつでも記入、観覧できるようにしている。ノートを基にミーティングや引き継ぎ時の申し送りで取り上げ情報の共有を図っている。ケース記録へ記入、必要に応じてプランの見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて、買い物や墓参り、通院の支援を行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの受け入れや地域消防団、消防署との連携が取れており防災訓練、救急法の講習など定期的実施している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を確認しながら、事業所の協力医や以前からのかかりつけ医と連携を取り、通院や往診など必要な時に、適切に医療が受けられるよう支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関からの月1回の往診と月2回の訪問看護が行われ、夜間や緊急時の対応などには隣接の特別養護老人ホームとの連携も取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師が定期的に訪問し、指導や相談をしている。又、併設施設の看護師に緊急の場合などいつでも相談できる体制にある。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力病院の往診を受け、入院時は面会や電話連絡で相談や情報交換をしている。看護職員との面識、連絡体制も構築されている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の際に家族へ重度化対応・終末期ケア対応指針を説明し理解を得ている。又、アンケートを取り、本人、家族の希望を踏まえて訪問看護師や主治医、協力医の指導のもと希望に添えるよう努めている。</p>	<p>重度化や終末期に伴う対応の指針やマニュアルがあり、入居時に説明し同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医や看護師を含む関係者が連携して、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時は、訪問看護師や隣接している施設の看護師などに協力をもらい、昼夜とも対応出来るようにマニュアルを作成し手順に沿って対応できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地震を含めた防災・避難訓練や消火訓練を夜間も想定し、行っている。</p>	<p>年1回、全事業所総合防災訓練を消防署や地域消防団・地域住民参加で実施している。事業所単独では年2回昼夜間想定で自主訓練を行っている。マニュアルも整備されている。スプリンクラーや緊急通報装置がある。非常用の食料や飲料水等の備蓄は併設の特別養護老人ホームで管理されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇や個人情報保護等の研修の充実を図り、名前の呼び方、話題の提供（話しかけ）時に配慮し、会話の際も敬語を使うよう心掛けている。	法人全体で委員会を設置し、対応マニュアルがある。計画的に研修会や勉強会を開催し、職員の資質向上に取り組んでいる。人としての尊厳を保てる言葉かけや対応に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外出や入浴など希望を伺いながら援助し、洋服選び等は、本人に確認しながら一緒に準備している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床・就寝時などそれぞれの時間で行動しており、食事もその時食べない時は、後から提供したりしている。又、本人のしたいことに職員が付き添える時間を作っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節ごとに衣類を準備し、自分で選んでもらい、できない方は職員と一緒に選び、できないことは支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事作りや片付けなど一緒に行っている。又、パン作りやバイキング、外で食事をするなど企画し楽しい雰囲気作りに取り組んでいる。</p>	<p>栄養士の助言を得ながら、旬の食材で利用者の嗜好に配慮した献立を工夫している。利用者も可能な範囲で準備や後片づけを職員と一緒にしている。外庭での食事・バイキング・お好み焼き・ケーキ作り・弁当持参での外出など、食事が楽しめるように工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>隣接している施設の管理栄養士にアドバイスをもらいながら多くの食材を用い、バランスの良い食事を提供している。又いつでも水分（お茶など）が摂れるように準備している。水分が取れにくい方へは、本人の好む例えば甘い物など勧めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後、できる方へは声を掛け口腔ケアを促し、できない方は義歯洗浄、うがいなど支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録を基に入居者個々の習慣や機能に応じた排泄援助を行っている。可能な限りトイレで排泄できるように支援している。	排泄チェック表を基に声かけ、誘導で基本的にトイレでの排泄を支援している。個々人の排泄パターンや習慣を把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を重視した支援をしている。夜間のみポータブルトイレの利用者もいる。食物繊維の多い食材や乳製品などで食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く取り入れた献立にしたり、水分を多く取ってもらえるように、入居者本人に合わせて飲み物や飲み方を工夫している。又、散歩や屋内での歩行訓練を毎日実施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めているが希望があれば毎日でも入浴できるよう柔軟に対応している。併設の交流センター温泉も利用している。	入浴は基本的に週3回であるが、希望があれば毎日でも入浴可能な体制をとっている。体調や希望に添った入浴ができるようにしている。併設の地域交流センターの温泉も利用している。入浴を拒む人にも言葉かけや時間調整などを工夫し、状況改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝・起床など、その都度本人に伺いながら希望に沿った対応をしている。また昼食後昼寝の時間をもうけ寝たい人は昼寝をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理のファイルに手順のマニュアルと薬の説明書を掲示しており、全職員がいつでも見れるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で掃除や洗濯物たたみ、食事作り、野菜作り、買い物など可能なことを一緒にできるよう支援している。天気の良い日は屋外で散歩やお茶などし、気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日の散歩や定期的にドライブ・買い物を実施し、家族からの外出の連絡があれば速やかに外出できるよう支援している。	日常的には敷地内を散歩したり、庭の木陰で地域住民とお茶のみをしている。買い物やドライブに出かけたり、計画を立て、弁当持参で花見やソーメン流しに出かけたりして、外出支援をしている。家族の協力を得て、外出や墓参・理美容院にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望や能力に応じてお金の所持の支援をしている。所持が困難な方は預かり金という形で職員が管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があればその都度支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームの周りには季節の花を植え、仏壇や玄関、ホールには季節の花や飾り物を置き、水槽で金魚を飼っている。又過ごしやすいうように室温や換気にも配慮している。</p>	<p>ホールはゆったりとしたスペースで明るく、室温や換気に配慮し清潔である。周囲の壁には行事の写真や貼り絵が飾られている。仏壇もある。ホールから直接ウッドデッキに出ることができ開放的である。水槽に金魚がゆったりと泳いでいる。カラオケセットもある。けやきの木陰で老犬と一緒にくつろげるよう工夫もされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにはソファを置き、仲の良い人同士自由にテレビを観たり話や昼寝などをされている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅よりタンスや鏡台、座椅子や写真など使い慣れた家具や身の周りのものを持ち込んで頂き、落ち着いて暮せるように支援している。</p>	<p>居室はベッドやタンスが設置されている。使い慣れた家具や寝具・椅子・家族の写真など身の回りの物が持ち込まれ、手芸品などが飾られている。大きな窓からは田園風景が目に入り、居心地よく過ごせる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホールやトイレには手すりを取り付け、移動の際利用されている。ベッドにも立ち上がりしやすいうように移動バーをつけている。又自分の席や物がどれか困らないように、部屋や椅子、湯飲みや衣類に名前を書いている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない